

# 医療技術学科新聞

2014年  
7月号

## チュートリアル発表会

7月の3週にわたり、IPE(専門職連携教育)について、発表会が開かれました。内容はチュートリアル授業中に学んだ事について、ポスターを制作し、それに關連したプレゼンテーションを行いました。チュートリアルとは、各専攻の1年生数人ずつがひとつのグループになり、担当の教員の下で各医療職について学習する授業です。発表会では、各グループが医療職における職種間の連携をオリジナルティーあふれる斬新な形で表現しました。質疑応答では、教員の鋭い指摘や質問が多く交わされ、盛り上がりしました。医療現場において、どの職種の人があるような役割を担っているのか、様々な事例を通して学べる発表会となりました。

発表会では事前にチュートリアルごとに作成したポスターと当日のプレゼンによって投票を行いました。その結果、ポスター上位グループは焼廣班と安田班、



(写真) IPEの発表をする学生

## 健康フェア開催

みなさんは健康フェアをご存知ですか。広島国際大学では地域の皆様に関心を

さまざまな「体験」の場を提供する健康フェアを開催しています。今年最初の健康フェアは広島市のシャレオ中央広場で、7月13日(日)に開催されました。医療技術学科は肺年齢測定検査を行いました。検査機器は手のひらサイズで検査は数分で終了するため、その場で結果を知ることが出来ます。本学科の学生もボランティアスタッフとして参加し、来場者の案内や実際の測定検査を積極的に対応してくれました。学生スタッフは大学1年生から大学院生まで幅広く参加してくれました。事前に練習していたおかげで実際の測定検査ではスムーズに検査を担当できていました。学生にとってこのように外部の方々と接する機会はなかなかありません。健康フェアを通じて、学ぶことのへの意識を高める充実した活動となったのではないのでしょうか。また、ほんの少しですが自分の将来像が見えたよい機会であったと思います。

## 学内実習紹介

実習紹介第3回目は、救命学専攻2年生の救急救命処置演習・実習Ⅲです。この実習では救急隊が行う処置や搬送などを学びます。実習では実際の救急隊のように搬送などを行うため、体力づくりとして、準備運動や腕立て伏せを行います。実習内容は週によって異なります。例えば、1週目に理論を含めた器具などの取扱いを学びます。同じ目的でも使う物や方法が異なるため、各機材をよく理解しておく必要があります。そして、2週目で胸骨圧迫などについて実習を行います。右下の写真は、男性が突然倒れ、救急要請があったとの想定で行われた実習です。救急隊員役の学生が、倒れている人の状態を観察し、適切な処置を行います。実習が終わると、学生同士でどのようなところが気になったかなどを指摘し合います。他にも、シミュレーターとパソコンをつなぎ、胸骨圧迫の深さや速さなどの記録をとり、どのような時に圧迫が弱くなるかなどをみることにしています。



(写真) 実習を行う学生

## 先月号の国試解説

答え 1、2、3  
心電計は心筋梗塞の診断に有用な機器のひとつです。心筋梗塞所見としてはST上昇、異常Q波、T波陰転の順に現れます。発症直後はST上昇が見られ、2、6時間後に異常Q波、2、3日でT波陰転が見られます。異常Q波は発症後1年後も残ります。

## 今後の大学・学科の予定

8/23(土) 第3回オープンキャンパス(呉キャンパス、広島キャンパス)  
8/24(日) 第3回オープンキャンパス(東広島キャンパス)・第4回オープンキャンパス(広島キャンパス)

☆来月の実習特集はお休みです。後期に再開します。

編集者(医療技術学科クラス委員)

- 丹野福士 (4年臨工)
- 脇 裕和 (4年臨工)
- 村中静夏 (4年臨検)
- 田中紀裕 (3年臨工)
- 真鍋 葵 (3年臨検)
- 比嘉千春 (2年臨工)
- 久行菜帆 (2年臨工)
- 青木麻友 (2年臨検)
- 今朝丸麻希(2年臨検)
- 東原 諒 (2年救急)
- 宮地彩花 (2年救急)
- 水國あゆみ(1年臨工)
- 百合野真由(1年臨工)
- 森元夏海 (1年臨工)
- 三澤英里子(1年臨検)
- 宮内 彩 (1年臨検)
- 大畑泰斗 (1年救急)

担当教員

- 速水 啓介
- 藤本 浩章
- 川中 洋平
- 徳毛 悠真

皆さんクラス委員をご存知でしょうか?主な業務としては、オープンキャンパスや新入生オリエンテーションのような、学科が関わる行事の準備手伝いや、教員と学生間の橋渡しの役割をしています。現在クラス委員では、救急救命学専攻の1年生を1人募集しています。興味のある方は気軽に608研究室を訪ねてください♪